

ぐるり30

～自治調査会だより～

2023

8

NO. 119

[発行日]
2023.8.1



ハートロックと子くじら

【写真提供】小笠原村【撮影場所】父島の千尋岩（ハートロック）

Contents 8月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年
多摩市町村のあゆみ
～別荘・行楽地・墓地・大学の広がり～ …… 2
- ▶ わたげ探偵！！こんなの調べてみました！
～島しょ地域の自慢の逸品～ …… 4
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
市町村の取組紹介 …… 6
- 東村山市 東村山市住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業
国分寺市 姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦（環境学習推進事業）
新島村 新島村LED化計画
- ▶ 多摩交流センターだより
・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介
第5回多摩地区市町対抗囲碁団体戦 …… 7
・TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ …… 7
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～小笠原村～ …… 8



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開していきます。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

多摩東京移管130周年

多摩市町村のあゆみ

本紙6月号では、多摩地域の鉄道史を紹介しました。今回は、鉄道網の発達に伴い増加する別荘や行楽地、多摩地域に数多くある墓地や大学の背景について見ていきましょう！

～別荘・行楽地・墓地・大学の広がり～

① 「武蔵野」と別荘

郊外鉄道が敷設され、東京都心部と多摩地域の結びつきが強まると、農村地帯であった多摩地域の性格も大きく変わってきました。ひとつには武蔵野の景観を活かした別荘が建ち並ぶことです。特に「ハケ」と呼ばれる国分寺崖線を挟んで、ハケ上とハケ下の高低差を取り込んだ作庭がこの地ならではの趣として積極的に取り入れられていきました。



1	竹尾藤之助別荘
2	江口貞篠別荘(現殿ヶ谷戸庭園)
3	天野啓次郎別荘
4	今村繁三別荘(現日立中央研究所)
5	渡辺武左衛門別荘
6	豊原清作別荘

国分寺市内の主な別荘 (大正末期)
(武蔵国分寺跡資料館『ふるさと国分寺のあゆみ』より)

② レクリエーション施設の増加

鉄道事業者を中心とした沿線開発も進んできます。京王電気軌道の沿線では、京王閣が1927(昭和2)年に建設され、総大理石貼りのローマ風呂や各種遊戯施設・演芸場、メリーゴーランドなどを設置して翌年には年間16万人を超える入園者で賑わいました。また、多摩御陵、多摩聖蹟記念館、高尾山のほか、春には稲田堤の桜、秋には多摩川梨など、新たな観光資源を戦略的に創出し、季節ごとの誘客を図りました。戦後になると、高度経済成長期とバブル期にテーマパークの建設熱が高まりましたが、レクリエーションの多様化などにより閉園したところも多あります。



京王電気軌道沿線のレクリエーション施設 (1940年頃)
(『京王電気軌道株式会社三十年史』より)

名称	開園年	閉園年
多摩テック	1961	2009
よみうりランド	1964	-
東京サマーランド	1967	-
東京セサミプレイス	1990	2006
サンリオピューロランド	1990	-
わんにゃんワールド多摩	2001	2009
東京ムツゴロウ動物王国	2004	2007

多摩地域の主なテーマパーク

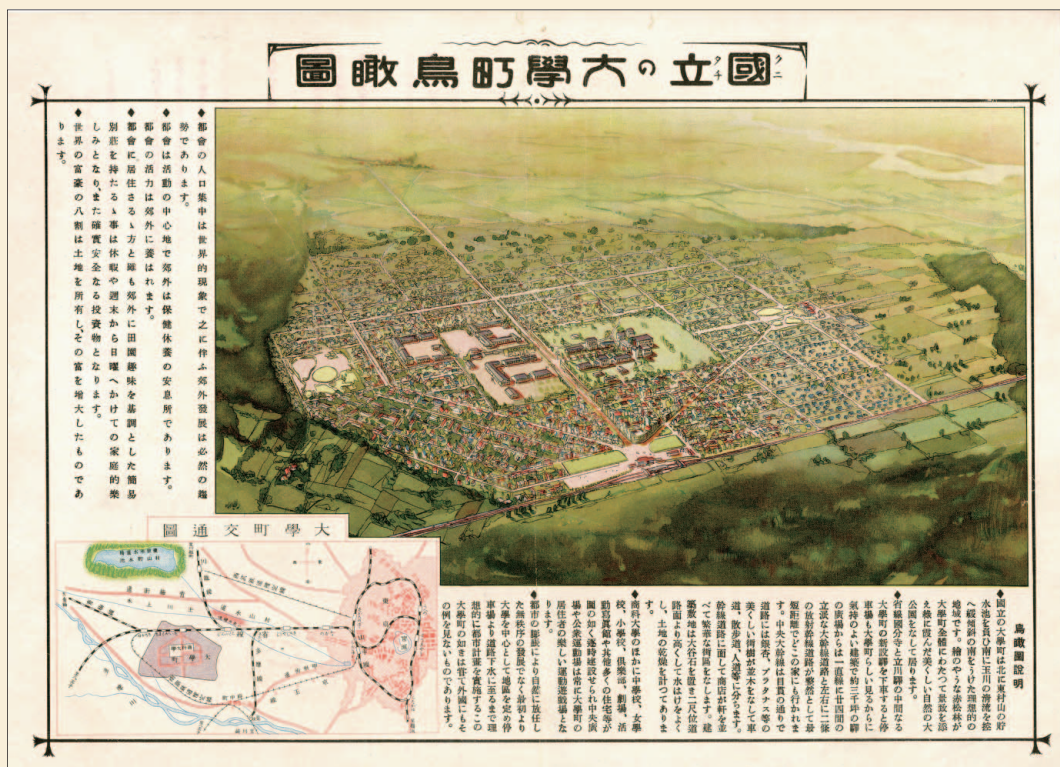
③ ついに 終の棲家

多摩地域の変化は、常に東京都心部の変化と連動してきました。都心部の過密化は広大な面積を要する公園、大学などや、都市内部での存在を忌避される霊園、病院などの施設を郊外へ押し出していきます。明治期の東京市内には青山墓地をはじめ計5つの市営墓地がありましたが、市街地化と人口増加に伴い墓地が不足します。このため、1919(大正8)年に「東京市墓地並施設設計計画案」により、東京郊外の東・西・北に広い公園墓地を創設する計画が立てられました。この計画に基づいて、多磨霊園(1923(大正12)年)、小平霊園(1948(昭和23)年)が開園し、さらに墓所の確保のため、東京都は八王子霊園(1971(昭和46)年)を開設しました。このほか民間の墓地が多数丘陵地帯に建設されています。

④ 学園都市の開発

関東大震災後、都心から郊外へ移り住む人たちが多くなりました。この郊外住宅開発を担ったのは、鉄道会社と土地会社でした。箱根土地株式会社は、国立・小平・大泉などの学園都市を開発しました。箱根土地の堤康次郎は、東京商科大学(現・一橋大学)の佐野善作学長と契約を結んで、関東大震災で壊滅的な被害を受けた大学を移転する計画を立て、国立大学町を建設しました。

1926(大正15)年に国立駅を開業、駅前広場と24間幅(約44m)の大通り(大学通り)を造成し、上下水道を備えた街区を設けました。その後、東京高等音楽院(現・国立音楽大学)、私立国立学園、東京商科大学が移転・開校して、学園都市が形成されていきました。



箱根土地株式会社の分譲地売出し広告(くにたち郷土文化館所蔵)

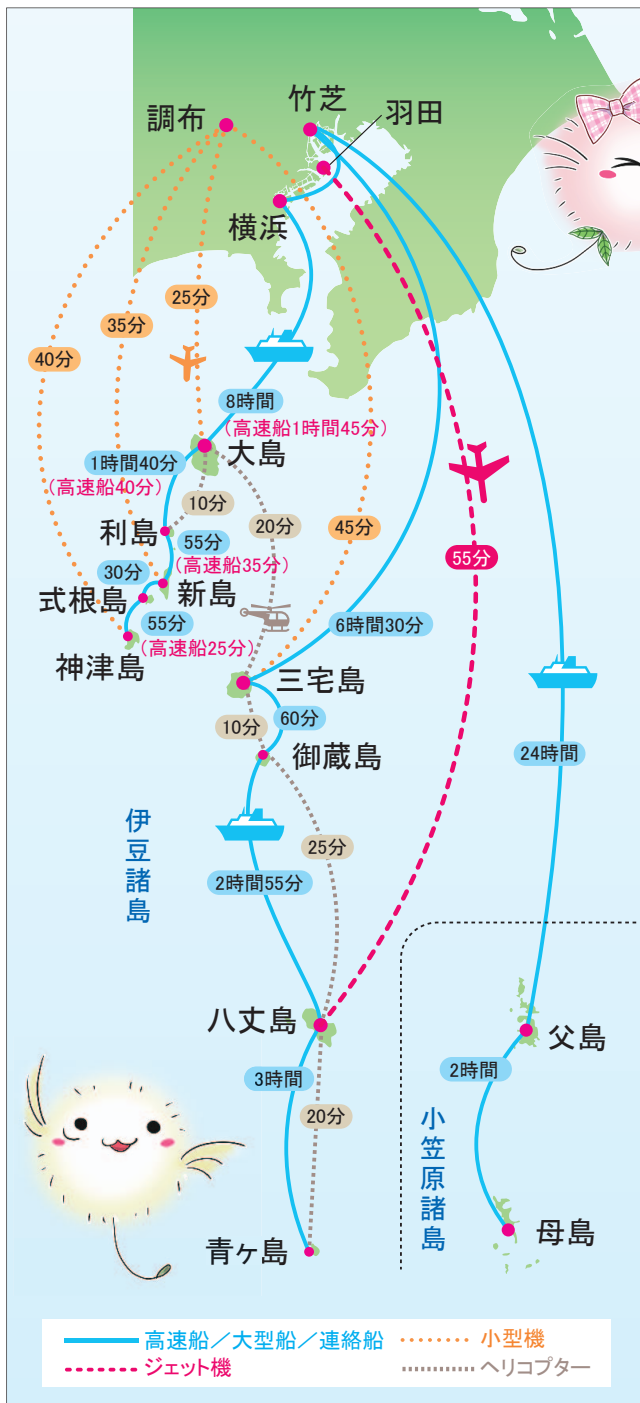
(公益財団法人東京市町村自治調査会「多摩市町村のあゆみ」より)



わたげ探偵!! こんなの調べてみました!

～ 島しょ地域の自慢の逸品 ～

◎不定期掲載



大島

亀の甲羅のべっこうに由来するべっこう寿司、別名「島寿司」をご家庭で手軽に作れるべっこう醤油だよ。

島ではわさびは貴重品で、代わりに青唐辛子でお刺身を食べるんだ。



利島

美しい椿林が多く椿産業が盛なんだ。

漁業は伊勢海老とサザエが主だよ。



新島・式根島

くさやは伊豆諸島の特産品なんだ。新島の各製造元のくさを食べ比べできるよ。

新島ガラスは新島とイタリアのリパリ島でしか取れないコーガ石を使用したガラス工芸品なんだ。



各島へのアクセス



大島

【航路】竹芝桟橋>大島 ジェット船最短1時間45分 / 大型船最短8時間
【航空路】調布飛行場>大島空港 約25分

利島

【航路】竹芝桟橋>利島 ジェット船最短2時間25分 / 大型船最短9時間40分
【航空路】大島空港>利島ヘリポート 約10分

新島・式根島

【航路】竹芝桟橋>新島 ジェット船最短2時間20分 / 大型船最短10時間35分
竹芝桟橋>式根島 ジェット船最短2時間20分 / 大型船最短11時間5分
新島>式根島 約10分
【航空路】調布飛行場>新島空港 約35分

神津島

【航路】
【航空路】

三宅島

【航路】
【航空路】

御蔵島

【航路】
【航空路】

多摩・島しょ地域には、隠れた魅力や知られざる不思議がたくさんあるんだ！



今回は **島しょ地域の自慢の逸品を紹介するよ。**

どの特産品も興味深いものばかりだね！

特産品を通して、島しょ地域の島々の魅力を発見しよう♪

 これらの商品はアンテナショップ「東京愛らんど」で購入できるよ！▶



神津島

「イカの王様」と称される赤イカをたっぷり使用した大人気の塩辛だよ。

東京都ではじめて国際ダークスカイ協会から星空保護区に認定された星空の美しい島なんだ。



八丈島

「完熟したレモンは皮もおいしい」樹上で完熟させる八丈フルーツレモンは市販品より一回り大きいよ。皮まで食べられるレモンなんだ。

美味しい魚介やフルーツだけでなく、ゆったりと露天風呂も楽しめるよ。



三宅島

新鮮な魚介類と共に明日葉製品も豊富、島の健康野菜だよ。

ダイビング、シュノーケリング、バードウォッチングなど、島を丸ごと楽しめるよ。



青ヶ島

「ひんぎゃ」と呼ばれる地熱によって水蒸気が噴出する穴をサウナや調理に利用しており、なかでもひんぎゃの塩は人気商品なんだ。

二重式火山でできた世界でも珍しい島で、絶景だよ。



御蔵島

「かぶつ」と言われる島の柑橘類を使用した調味料やお菓子だよ。

スダジイの巨木の原生林をもつ自然豊かな島なんだ。



小笠原 父島/母島

海底熟成ラムはラム酒を小笠原の海底に一年間沈め、熟成させたラム酒だよ。

世界自然遺産に登録された小笠原はホエールウォッチング、トレッキングなど、魅力的なエコツアーが数多くあるんだ。



竹芝桟橋▶神津島 ジェット船最短3時間5分 / 大型船最短 12 時間
調布飛行場▶神津島空港 約 40 分

竹芝桟橋▶三宅島 大型船約 6 時間 30 分
調布飛行場▶三宅島空港 約 45 分

竹芝桟橋▶御蔵島 大型船約 7 時間 30 分
大島▶御蔵島ヘリポート 約 30 分
三宅島▶御蔵島ヘリポート 約 10 分
八丈島▶御蔵島ヘリポート 約 25 分



八丈島

【航路】竹芝桟橋▶八丈島 大型船最短 10 時間 25 分
【航空路】羽田空港▶八丈島空港 約 55 分
御蔵島▶八丈島空港 約 25 分
青ヶ島▶八丈島空港 約 20 分

青ヶ島

【航路】八丈島▶青ヶ島 定期船 約 3 時間
【航空路】八丈島空港▶青ヶ島ヘリポート 約 20 分

小笠原 父島/母島

【航路】竹芝桟橋▶父島 大型船約 24 時間
父島▶母島 定期船約 2 時間

◆最新情報は各ホームページなどでご確認ください。



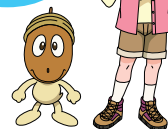
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

シーナ



かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



1 東村山市 東村山市住宅用地球温暖化対策設備設置費補助事業

東村山市では、ゼロカーボンシティ東村山の実現に向けて地球温暖化防止対策を推進するため、太陽光発電システム・蓄電池システム・家庭用燃料電池・断熱窓を設置した方に、設置費用の一部を補助します。

2024年1月19日まで申請を受け付け、同年2月ごろに交付決定を行う予定です。

市では、「東村山市エネルギービジョン」に基づき、地球温暖化対策を総合的に推進し、さらに取組を加速していきます。

(令和5年度)

東村山市 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金

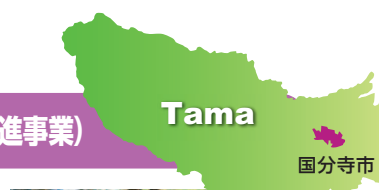
太陽光発電システム 【補助上限額】 150,000円	蓄電池システム 【補助上限額】 70,000円
家庭用燃料電池 (エネファーム) 【補助上限額】 50,000円	断熱窓改修 【補助上限額】 100,000円

【問合せ先】東村山市 環境保全課 TEL 042-393-5111

2 国分寺市 姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦(環境学習推進事業)

国分寺市では、2016年度から市内の姿見の池で、小学生とその保護者を対象に、『姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦』を開催し、他の生態系を脅かすザリガニの駆除を行うとともに、水辺の生きものなど、自然環境について知る機会としています。

2022年度は10月に開催し、参加者26名により39匹のザリガニを捕獲・駆除しました。当日は快晴の中ザリガニを釣り、親子で生きものについて学ぶ良い機会となりました。市では、市民の皆さんとともに今後も自然環境に親しみ、保全に取り組んでいきます。今年度は9月23日(土)に開催予定です。



【問合せ先】国分寺市 まちづくり計画課 TEL 042-314-9005

3 新島村 新島村 LED 化計画

「新島村 LED 化計画」は、村施設を LED 化することにより、島内の省エネルギー化に寄与するとともに、住民にエコロジーの取組を推進することを目的としています。

昨年度は、中学校体育館としての利用はもとより、島内各団体の集会やスポーツ施設、コンサート会場等として幅広く島民に利用されている新島中学校体育館の照明25灯のLED化を実施しました。

今後も利用の多い施設の省エネルギー化を図り、村全体で環境に配慮した機器等の使用普及を目指していきます。



【問合せ先】新島村 企画調整室 TEL 04992-5-0204



多摩交流センターだより

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

第5回多摩地区市町対抗囲碁団体戦

日時 2023年8月20日(日) 10:00～18:00
場所 八王子市芸術文化会館 いちょうホール
内容 多摩地区囲碁愛好家の皆さんが、各市町(チーム9人構成)対抗の囲碁団体戦を行います。第5回大会は、東京都の中核市である八王子市で開催することになりました。

参加選手は男女混合で、子どもからシニアまで、棋力も無差別、高段者、低段者や級位者など幅広い皆さんが囲碁を通して交流します。同時に日本棋院首藤瞬八段をはじめ、多摩地区に馴染みのある先生方による指導碁も予定しています。囲碁文化継承を目指す情熱をもったボランティア活動による、多摩地区横断的なイベントです。出場選手への応援をお願いします。

参加費 観戦、見学は無料
主催 多摩地区市対抗囲碁団体戦実行委員会
問合せ 多摩地区市対抗囲碁団体戦実行委員会事務局
 TEL 080-7711-9474 (遠藤)
 E-mail kazuhiro.endo.xb@gmail.com



TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

連続講座

アジアの中の日本

第3回 ～格差社会とITのインド～

講師 みやもと けんすけ 宮本 謙介 氏
 北海道大学名誉教授。社会学博士。専門はアジア社会経済史、現代アジア社会経済論。2020年からTAMA市民塾の運営に参加。著書に『アジア開発最前線の労働市場』など多数。

内容 アジアは激動の時代を迎えています。現代アジアについて、単なる時事解説ではなく、背後にある歴史的・アジア的な固有の諸問題を掘り下げます。毎回特定のテーマと国・地域に焦点を当てながら、現代アジアと日本の関わりについて、皆さんと共に考えます。

日時 2023年8月27日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)
会場 多摩交流センター 第2会議室
 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F(京王線 府中駅北口 徒歩3分) ※駐車場はありません。

申込 不要(当日会場にお越しください)
定員 先着24名
受講料 無料

※今後の予定(第4回12月・台湾) 当日先着順で受け付けます。

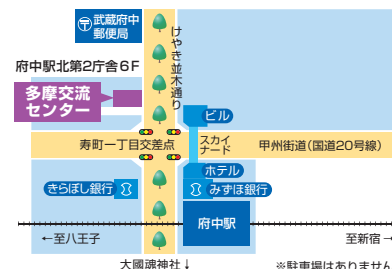
問合せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111(土・日・祝除く平日9:00～16:00)

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
 ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『小笠原ビジターセンター』と『ローズ記念館』を紹介するよ。

小笠原ビジターセンター (父島)



小笠原ビジターセンターでは、小笠原諸島が海洋島として誕生してからの歴史、美しい海、珍しい動植物やクジラ・イルカ情報などについて、わかりやすく解説しているよ。

小笠原の自然や歴史を幅広く紹介するため、さまざまな企画展示や講演会、体験プログラム、自然観察会などを開催しているんだ。

ローズ記念館 (母島)



耐熱性に優れ、加工もしやすい母島特産のローズ石造りの郷土資料館だよ。戦前使われていた民具や漁具、製糖機器などを展示しているよ。ローズ石は、1869(明治2)年頃、母島に定住し開拓に貢献したドイツ人ロスフス氏によって発見されたんだ。大正時代には砂糖倉庫として使用されていたよ。

【現地案内】

◆ 父島へのアクセス

- ・竹芝桟橋から「おがさわら丸」(小笠原海運)で約24時間

◆ 小笠原ビジターセンター

- ・開館時間「おがさわら丸」観光船入港中の8:30~17:00 (GW・夏期などは毎日開館)(夜間開館日あり)
- ・入場料 無料

〈アクセス〉

- ・父島二見港から徒歩5分

【情報・写真提供】小笠原ビジターセンター
小笠原母島観光協会

〈父島〉



◆ 母島へのアクセス

- ・父島から「ははじま丸」(伊豆諸島開発)で約2時間

◆ ローズ記念館

- ・開館時間「ははじま丸」運航日の8:30~16:00
- ・入場料 無料

〈アクセス〉

- ・母島沖港船客待合所から車約2分または徒歩約10分

〈母島〉



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

